# 令和了年度 公共事業再評価調書

事業説明シート

甲府市桜井町 事業名 道路事業 [国道橋りょう改築事業(国補)] 事業箇所 当初計画 現計画 変更計画 計画期間 R3~R11 R3~R12 総事業費 5,000 百万円 百万円 百万円 6,600

#### (1)事業の概要

#### ①事業目的及び効果

国道140号(西関東連絡道路)は、山梨県と埼玉県の交流や、甲府市と峡東地域の連携を強化す る延長約110kmの地域高規格道路である。甲府市桜井町~山梨市東が平成30年3月までに供用され ており、西関東連絡道路への交通転換により現道の安全性の向上、渋滞緩和及び移動時間の短縮が図 られた。

しかし、甲府市桜井町においては、十郎橋西交差点の改良事業により交通状況は一定程度改善され たものの、依然として大蔵経寺山トンネル内にまで及ぶ渋滞が発生しており、今後、新山梨環状道 路・北部区間の進捗に合わせた、さらなる交通対策の早急な実施が望まれている。

#### 口主要目標 〇市街地内の交通の円滑化

自動車交通量 : 12,210台/12h>7,837台/12h(平日)以上※ (H27センサス) 混雑度 : 2.01>1.25以上※ ※評価基準値

□副次目標 ○災害に強い道路の確保

危険度・損傷度等 : なし

緊急輸送道路の指定:指定あり(第一次緊急輸送道路)

: 12,210台/12h>3,340台/12h(平日)以上※ ※評価基準値

□副次効果 ○主要渋滞ポイントの解消

#### ②事業概要

道路改良 L=1.100m W=3.25(55) m

#### ③全体計画

令和6年度まで		令和6年度まで	令和7年度 (評価実施年度)	令和8年度以降	
現計画	工事内容	測量·設計 用地測量 用地補償	橋梁工事	橋梁工事 道路改良工事	
	事業費	445 百万円	710 百万円	3,845 百万円	
変更計画	工事内容	測量・設計 用地測量 用地補償	用地補償 道路改良工事	用地補償 橋梁工事 道路改良工事	
	事業費	746 百万円	214 百万円	5,640 百万円	

|※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

## 4、特記事項(関連事業概要等)

・令和6年4月に新山梨環状道路北部区間(桜井〜塚原間)が新規事業化され

(桜井ICアクセス)

国道140号

国補

事業主体

県単

山梨県

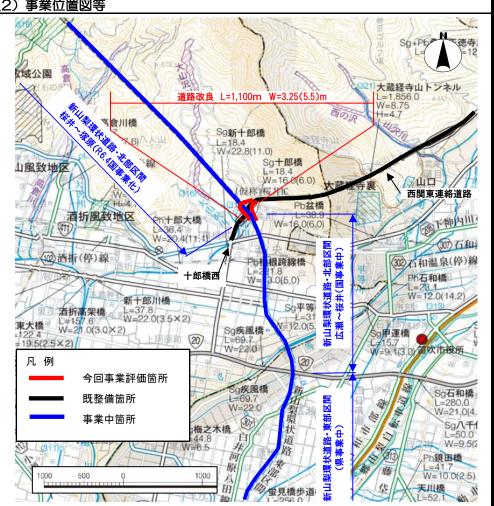
(区分)

### ⑤これまでの評価状況(令和2年度事前評価)

地区名

本事業により、地域高規格道路である西関東連絡道路と新山梨環状道路・北 部区間とを接続することとなり、交通の円滑化が図られ、現道交差点の渋滞も 大きく改善することが見込まれることから、事業の必要性は高く、実施が妥当 である。

## (2) 事業位置図等



## 2.評価シート(1)

## (1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

(今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)

## ①地域・住民の意向状況

変化なし

### ②産業・経済情勢

労務費・建設資材費の上昇

### ③国等の方針

・ 令和6年4月に新山梨環状道路北部区間(桜井~塚原間)を新規事業化

## ④上位計画・関連事業計画等

- ・山梨県総合計画(令和5年10月策定)
- •山梨県強靱化計画(令和6年3月改訂)
- •山梨県社会資本整備重点計画(第四次)(令和4年9月改定)
- ・山梨県道路の整備に関するプログラム(令和7年3月改定)

## ⑤自然環境条件等

変化なし

## ⑥その他

変化なし

## (2) 評価時点の費用対効果分析

項目		着手時点		変更計画時点		
総事業費		5,000	百万円	6,600	百万円	
	工期		R3~R11		R3~R12	
	評価基準年		R2		R7	•
	費用		3,600	百万円	5,630	百万円
		建設費	3,480	百万円	5,500	百万円
経		維持管理費	120	百万円	130	百万円
経 済		その他(		百万円		百万円
効	便益		4,550	百万円	7,130	百万円
率 性		走行時間短縮	4,030	百万円	6,160	百万円
性		走行費用減少	150	百万円	440	百万円
		交通事故減少	300	百万円	400	百万円
		その他※	70	百万円	130	百万円
		B/C	1.3		1.3	3

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上 ※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益

## (3) これまでの計画変更等の概要

なし

### 評価シート(2)

#### (4) 事業進捗状況及び見込み

#### **①進捗率**

別表のとおり。

R7年度進捗率(現計画)23.1%→(実績)19.2%→(変更計画)14.5%

### ②進捗率実績が計画と相違している理由

用地取得に時間を要し、当初計画から遅れが生じた。

#### ③総事業費の変更内容

_						
	変更工種等	事業費増減	変更理由			
	用地補償費工事費	1,600百万円	物件調査結果による補償費用の 増額 労務単価、資材単価の上昇によ る増額			
	合 計	1,600百万円				

### ④事業期間の変更理由及び進捗予定

用地取得に遅れが生じたことにより、工期を1年間延長する。 用地取得箇所から順次工事に着手し、計画に遅れが生じないよう工事進捗 を図る。

## ⑤今後の事業執行における留意点

未契約用地を取得し、計画的な工事発注を行うことで事業進捗を図る。

## (5) 環境負荷等への配慮

なし

#### (6) コスト縮減の可能性

なし

## (7) 代替案立案の可能性

なし

## (8) 所管部の今後の方針

継続(・見直し継続・その他(

(理由)

西関東連絡道路と新山梨環状道路が連結する要所となる道路であり、今後さらな る交通量の増加が見込まれている。また、地元も本アクセス道路の整備を強く切望 している。こうした状況を踏まえ、用地取得が完了した箇所から順次工事に着手 し、計画的な事業進捗を図り、北部区間(広瀬〜桜井)の供用開始に遅れないよ う、着実な整備を目指す。

## 〇別表-進捗率(事業費ベース)

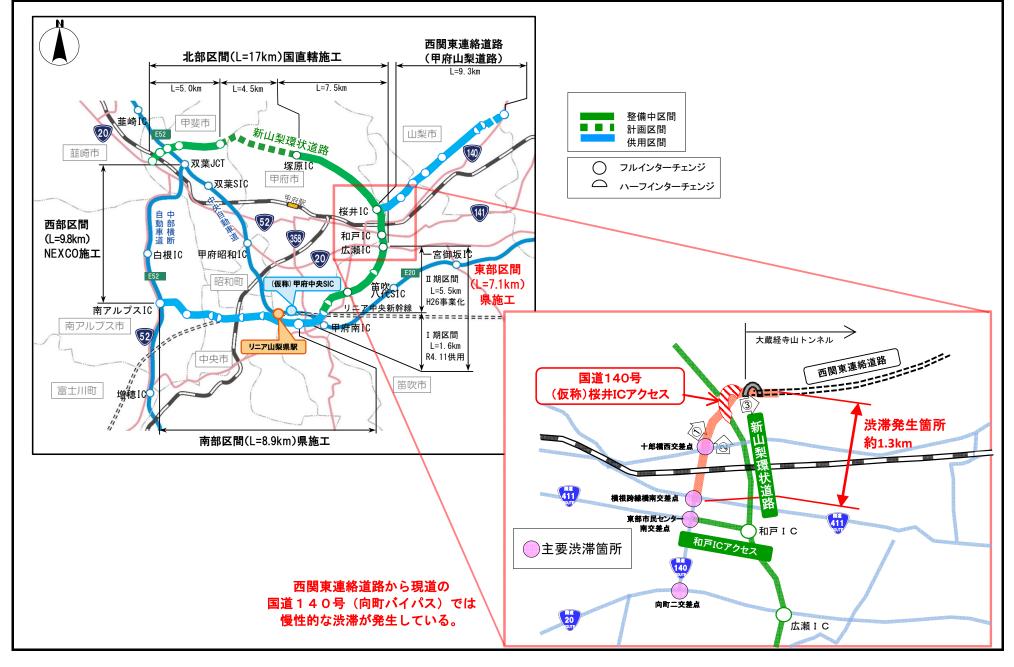
算出方法: 【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100

年度 \*R3 R4 R5 R6 \*R7 R8 R9 R10 R11 R12 23.1 59.5 41.5 80.5 100.0 計画 0.6 1.4 4.4 8.9 現 実績 08 14.9 192 変更計画 14.5 30.0 47.6 65.8 83.9 1000

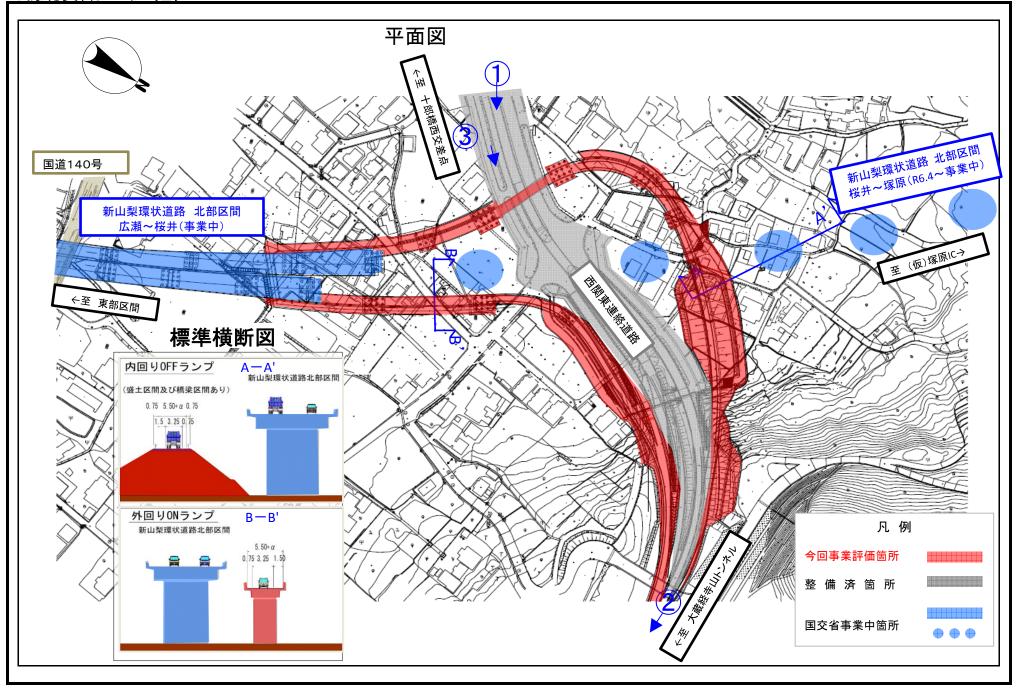
- \*事業着手年度又は評価年度
- \*R7年度の実績は見込み

単位:%

3.添付資料シート(1)



3.添付資料シート(2)



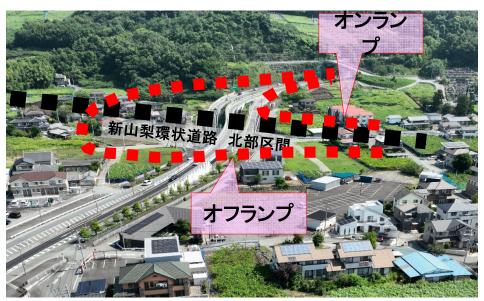
# 3.添付資料シート(3)



①十郎橋西交差点からの渋滞状況



②十郎橋西交差点からの渋滞状況(甲府側坑口)



③ (仮称) 桜井JCT付近 (イメージ)

4.年度別事業費内訳表(変更計画の内容)

年度	変更事業費	事業概要	進捗率
	(千円)		(%)
R3	40,000	測量	0.6
R4	245,000	橋梁詳細設計 道路詳細設計	4.3
R5	175,000	用地測量 用地補償	7.0
R6	286,000	用地補償	11.3
R7	214,000	用地補償 道路改良工事	14.5
R8	1,021,000	用地補償 橋梁工事 道路改良工事	30.0
R9	1,159,000	橋梁工事 道路改良工事	47.6
R10	1,200,000	橋梁工事 道路改良工事	65.8
R11	1,200,000	橋梁工事 道路改良工事	83.9
R12	1,060,000	道路改良工事	100.0
合計	6,600,000		